

吉野川で遊ぼう！！

アドウェーブ
(高知県本山町)

こんにちは。川遊び大好きアクティブ系河川管理者「遊び人のM」です。
吉野川で遊ぼう！！では、自ら体験し、川を楽しみ、感じたことを発信します。
第12回は「吉野川カヤック～寺家カヌー競技場&アドウェーブ～」です。

吉野川の早明浦ダムより2km下流（高知県長岡郡本山町寺家）に寺家（じげ）カヌー競技場があります。その少し下流に、アドウェーブがあります。

寺家カヌー競技場は、今年開催される「愛顔つなぐえひめ国体」9月9日（土）～12日（火）のカヌー会場となっています。2020年東京オリンピック候補選手が間近で見られるチャンスです。

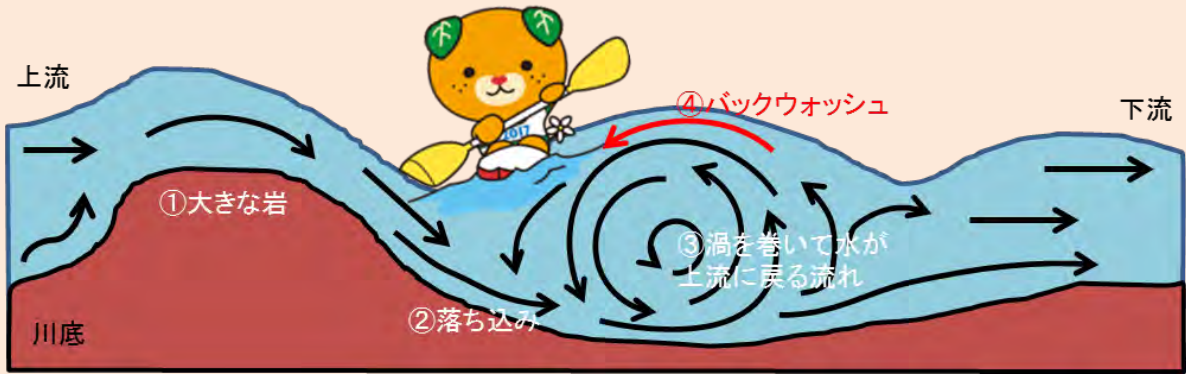


アドウェーブでは、フリースタイルカヤック大会「四国吉野川・プレイボーティング in もとやま」が毎年開催されており、7月16日（日）が20回目となります。

フリースタイルカヤック競技では、ウェーブでサーフィンをし、45秒間の間に、技を決めて、点数を競います。（なにそれ！？と思いましたね）

まずは、ウェーブの解説です。

ウェーブのしくみ（川を横からみたイメージ）



ウェーブとは、①川底の大きな岩などを②水が越えて落ち込んだところに、③渦を巻き水が上流に戻る流れが発生し、④バックウォッシュができたところのことです。

このバックウォッシュにうまくのると、サーフィンのように波乗りができます。

川の流れに逆らい、上流に向けて、カヤックでサーフィンをする姿は、はじめて見ると不思議な光景です。カヤックで乗れるようになるには、すこし練習が必要です。



アドウェーブは、本山橋水位観測所の水位が2.2mくらいするとき（早明浦ダム放流量が60 m³/sくらいするとき）に、いかたちのバックウォッシュができます。

本山橋の水位、早明浦ダムの放流量は、国土交通省が提供している「川の防災情報」で、24時間確認することができます。

アドウェーブに乗りたいカヤッカーは、いつもチェックしています。



一見おぼれているようにも見えますが(笑)ウェーブの中でのものすごい技を決めています。「四国吉野川・プレイボーティング in もとやま」の大会では、レギュラー（エキスパート）、スピン（中級者）、サーフィン（初心者）の3つのクラスがあり、各クラスとも45秒で技を競います。ちなみに遊び人のMは、サーフィンクラスで優勝したことがあります（自慢）

なにそれ？と思った方は、ぜひ、アドウェーブの大会や寺家カヌー競技場の国体の応援をお願いします。

「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp>

